平成27年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	平成27年5月29日（金） 13:30～15:15
場所	豊橋市中央図書館 会議室
委員	出席定数12名 うち9名出席
事務局	豊橋市教育部図書館12名 都市計画部まちなか図書館整備推進室1名
議事	<p>議題</p> <p>(1) 会長、副会長の選任について</p> <p>(2) 平成27年度主要事業について</p> <p>(3) 平成27年度図書館協議会開催内容について</p> <p>(4) まちなか図書館（仮称）について</p> <p>(5) 図書館基本構想の策定について</p> <p>(6) 子ども読書活動推進計画の策定について</p> <p>(7) その他</p> <p>ア. 平成27年度豊橋市図書館資料収集および昨年度利用状況について</p> <p>イ. 大清水図書館の利用状況等について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊橋市図書館協議会委員名簿 ・ 平成27年度図書館予算 主な事業 ・ 平成27年度図書館協議会開催内容について ・ まちなか図書館（仮称）整備に関する予算及び主な事業 ・ 豊橋市図書館基本構想の策定について ・ 第三次豊橋市子ども読書活動推進計画について ・ 平成27年度資料収集の基本方針・重点目標 ・ 平成26年度利用状況

<議事概要>

(1) 会長、副会長の選任について

事務局より、会長及び副会長の適任者の推薦を依頼したところ、島田委員を会長、地宗委員を副会長に推薦する旨の発言があり、全会一致で平成27年度図書館協議会会長には島田大助委員、副会長には地宗一郎委員が選任された。

(2) 平成27年度主要事業について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

大清水図書館の書架はまだたくさん空きがあるが、今年度は大清水用の図書の購入はないのか。

(事務局)

蔵書の規模は7万冊を収容できる設計になっているが、開館時には5万冊という蔵書でスタートしている。一度にということではなく、段階的に7万冊へ近づけていくことで、それに合わせた資料の購入費も予算の中に含まれているので、今後計画的に揃えていくと考えている。今年度の購入冊数は5,000冊を予定している。

【委員】

計画の策定に要する経費は、具体的にどういったものがあるのか。

(事務局)

予算の内訳は、市民ニーズ調査の結果を反映した計画策定のノウハウを有するコンサルタントに業務委託するための委託料が380万円、その他は計画書の印刷代等になる。

【委員】

施設の改修工事・修繕に要する経費について、現在のところで特に緊急を要する改修工事や、あるいは防災上安全を守るための工事は何かあるか。

(事務局)

今年度については緊急性のあるものはない。トイレの改修や電動書架の改修を計画的に行っていきたいと考えている。

(3) 平成27年度図書館協議会開催内容について

事務局より、配布資料に基づき説明。

(4) まちなか図書館（仮称）について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

まちなか図書館整備基本計画のパブリックコメントの結果を見ると、まちなか図書館は1階にという意見が多くあったが、こういった意見はきちんと計画に反映されるのか。

(事務局)

いろいろな意見がある中で、具体的なものについては今年実施計画を作っていく中で、意見を反映しながら作っていきたいと考えている。

図書館の部分を1階ということについては、すでに基本計画の方で2、3階ということで方針を示している。確かに図書館を利用する方からすれば1階が一番良いが、ここについては民間のビルの中に図書館が入ることなので、民間の商業施設も図書館もすべて成功しなければいけないため、1階に商業施設、2、3階が図書館という形がベストと考えている。図書館には入りやすいように、入口の工夫やユニバーサルデザインといった形で進めていきたいと考えている。商業施設と一緒に賑わいを創出していかなければいけないということがあるので、1階に単独でということはない。

【委員】

忙しい人が本をすぐ受け取れるような窓口が、小さくても1階にあるとよいと思う。

(事務局)

ITが進む中で、貸出ロッカーを1階に設置して夜間にも本を借りられる図書館もあるので、これからいろいろな方法を考えながら進めていきたい。

(5) 図書館基本構想の策定について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

策定委員会は特に立ち上げずに、庁内のワーキンググループで議論するということになるのか。

(事務局)

庁内のワーキンググループで議論して、その内容を図書館協議会にも報告する。

【委員】

子育てを考えた時に、お母さんが本を読まないから子供が読まなくなっていると考えがちだが、これからはライフスタイルが変わってきて、お父さんも育児に参加したい人が増えてきているので、子供を連れてお父さんが入りやすい図書館を考えるとよいと思う。お母さんを中心とした読書という考え方ではなく、お父さんも入れた部分も考えるとうよいと思う。

(事務局)

先日のお話し会等にもお父さんが多く来ていて、ある意味キーワードは「イクメン」なのかなという部分も考慮して考えていきたい。

【委員】

5年、10年で世の中はすごく変わっていくので、10年間の長いスパンで見通すのはとても難しいが、じっくり議論した上で構想を立てていってほしい。一番期待したいのは、本のある生活が市民の中に浸透するような取組みができるとよいと思う。

【委員】

豊橋駅周辺は文化的な施設が充実してきているなど感じていて、まちなか図書館も非常に期待している。ここにこ、プラット、まちなか図書館のつながりは、どのように考えているのか。

(事務局)

3つの施設で文化的な薫りを漂わせながらにぎわいの創出を図っていく。それらの施設はお互いに役割があって、その中で連携しながら進めていくということで、その施設ごとの歩く空間等を整備しながら進めている。今は、ここにこ豊橋駅とプラットが線になっているが、図書館ができることで面的なつながりができて、さらに通りも整備することでもう少し歩いてもらえるようになり、にぎわいを創出できるのではないかなということを考えながら進めている。

【委員】

せっかく3つの施設ができてバラバラだともったいない。ぜひ関連性をもって進めていってもらいと、魅力がもっと増すと思う。

【委員】

いろんな人がこの図書館からつなげて考えていける。10年の間に人の動きがそれに合わせていけるようになると思う。

(6) 子ども読書活動推進計画の策定について

事務局より、配布資料に基づき説明。

(7) その他

ア) 平成27年度豊橋市図書館資料収集および昨年度利用状況について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

資料の収集について、地域に埋もれている郷土資料はどうやって発掘するのか。

(事務局)

地元の新聞等の記事を拝見した時に、本人に連絡を取って収集している。

【委員】

利用者にとって、面と向かって本を手にとってみるというのが一番の魅力になる。バックヤードの本と入れ替えると、見たことがない新しい本を発見することができて利用者の増加につながるのではないかと考えている。今までと違う本が並ぶと新しい魅力になるのではないかと。

(事務局)

図書館の基本はやはり書棚という話が出ていて、棚担当をしっかりと決めて、責任をもって書架を整理するという試みを開始している。いろいろなアイデアを出して魅力のある書棚にしていこうと考えている。

【委員】

古書の収集をどのように検討しているか。

(事務局)

今手に入れられるものを手にしておくということを絶えず心掛けて収集している。購入に限らず、寄贈のものも含めて収集していきたいと考えている。

【委員】

利用状況について、1人10冊貸出を開始したことにより、利用者が図書館に来る回数が減っているということではないのか。

(事務局)

それも一つの要因として考えられる。今までは2回来なければいけないのが、1回で済むというのも要因としてはある。

イ) 大清水図書館の利用状況等について

事務局より、5月までの利用状況を説明。

以上